

地域の皆さんに、一体となって保育園・小中学校を支えていただく、 「池田町コミュニティ・スクール」 かわら版

ポイント

学校と地域が一緒になって、子どもたちの学び活躍する場をつくる取り組みを紹介します。昔から続く地域の行事や学校行事で、学校、地域、家庭、行政等の様々な主体が交わり対話を重ねることで、次の世代へつながる「ひとづくり」へつながっていきます。



私たちが願う子どもと地域の姿は
「子どもがまんなか 未来を拓く ひとづくり」
詳しくは池田町第2次教育大綱を見てね!!



米作りを通した地域の人との交流

9月 稲刈り・はぜかけ



10月 脱穀



お米作りを通して学ぶ地域との繋がり

池田小学校では、今年5月に5年生が田植えを行い、9月に稲刈り、10月に脱穀の作業を実施しました。稲刈りでは児童が慣れない鎌を使って稲を刈り、稲を束ねてはぜ掛けを行いました。稲を刈る人と束ねる人に分かれて活動し、「できた!」と元気よく作業をすすめ、収穫体験を楽しんでいました。子どもたちは、農業の難しさや大変さ、やりがいなど教科書からだけでは得られない学びが得られたようです。担任の先生は「地域の方々はお米作りを手伝ってくれてありがとうございます」と話してくれたが、授業を手伝っていただきありがとうございます」と逆に感謝を伝える側です。」と充実した授業になったとのことです。精米されたお米は後日子どもたちの手元に届きました。

地域の人との交流は会染でも!

会染小学校では、5年生が長年、田中学さんご夫妻の指導のもとにもち米、うるち米を収穫しています。



機械を使って稲刈りをする様子↑



米作りを通して、お米を好きになってほしい

池田小学校のお米作りを手伝ってくれている営農支援センターの横川一登さんは「子どもたちに農業や米づくりの面白さを知ってほしい。大変な作業ではあるが、お米のおいしさを感じ、作る喜びを味わってもらえると嬉しい。」と児童に稲刈りの指導をしながら話してくださいました。池田小学校の稲刈りには農業委員含め計8名の地域の方が手伝ってくださいました。集まった地域の方々のおかげで、子どもたちの成長や学びにつながったことでしょう。

地域の祭りで育まれること

地域の祭りの役割とは

池田町では八幡神社の例大祭をはじめ各地区での祭りが子どもたちの活躍によって継承されています。地区行事が学校外の重要な学びの場になっており、祭りが地域づくりとして重要な役割を担っています。



各地区での練習が子どもたちの達成感へ

子どもたちの祭りへの参加には、参加しやすい環境作りや本人の意思が大きく関わってきます。環境面では学校が行事として配慮することや地区の保存会や年番が練習場所や機会を整えることで、祭りへの参加がしやすくなっています。本人の意思の面では、祭りの雰囲気や仲間との達成感が毎年の参加を後押ししています。各地区では平日や週末に練習が行われ、地域の大人が指導や見守りをしています。子ども同士で教えあう場面や休憩時間の交流を通じて世代を超えた縦の繋がりができます。日々の練習の積み重ねが本番での達成感につながっているようです。



祭りが作るコミュニティでの学び

上級生は練習の中でリーダーシップを発揮しなければならないタイミングがあります。そうしたなかで上級生は先輩としての責任感を学び、下級生は頼れる先輩の背中をみて、憧れをもちます。また、地域の方から直接指導を受けるなど大人との関わりのなかで学ぶこともあります。このような経験は学校以外での社会性を育て、子どもの視野を広げることにもつながります。さらに、祭りを通じて地域の一員としての自覚や地域への貢献意欲にもつながります。例えば、大人になっても祭りの時は池田に戻ってくるという人もいるようです。このような地域を支える人材は、地域づくりにも良い影響をもたらすと思われます。そのため、祭りは子どもたちの学びと地域づくりをつなぐ重要な機会といえるかもしれません。

地域学校協働活動

草刈り応援隊

池田小学校の環境整備として草刈りが地域の方々によって行われています。9/24に行われた活動では、3名の地域の方が鎌などを使い草刈りをしました。機械を使って草刈りできないところは、手作業でやっていくしかありません。そのため、地域の方々のお手伝いはとても貴重で先生方も助かっているようです。



各校園では、子ども達の遊びや学習、環境整備等でのボランティアを募集中です。子ども達のためにこんなことをしたいというご提案も隨時受けつけますので、各校園、または教育委員会にご一報ください。

9月号のかわら版において、記載内容に一部誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正させていただきます。

訂正内容： 【誤】袖山由紀子 【正】袖山由起子

問い合わせ 池田町教育委員会 電話 61-1430 Fax 61-1665】

«ただいま☆いけだまち ～小さな町で大きな幸せ見つけよう～»

「雑誌だって資源ごみ。読み終わったら燃やさず分別！ リサイクル！」